

水浴場の環境放射線モニタリング調査結果 (令和元年度第2回目：遊泳期間中)について

令和元年8月19日
原子力災害現地対策本部(放射線班)
福島県災害対策本部(原子力班)

県内の水浴場28地点において環境放射線モニタリングを実施し、その結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

- 1 調査期日 令和元年7月22日～7月30日
2 調査地点数 28地点(湖水浴場14地点、海水浴場14地点)
※海水浴場については、今夏開設しないところも調査しています。

3 調査結果

空間線量率は、福島第一原子力発電所事故前における県内の自然放射線のレベルと同程度でした。

また、湖水・海水中の放射性セシウム、全ベータ放射能、トリチウムは、福島第一原子力発電所事故前の値と比較して同程度でした。

(1) 湖岸・海岸での空間線量率

0.03～0.06 μ Sv/h(地上1m)

※事故前における県内の空間線量率 0.02～0.13 μ Sv/h(地上1m)

(2) 湖水・海水中の放射性セシウム濃度

不検出

※水浴場の放射性物質に係る水質の目安 10Bq/L以下

(3) 海水中の全ベータ放射能

(釣師浜、原釜・尾浜、北泉、久之浜・波立、四倉、薄磯、勿来)

0.01～0.02 Bq/L

※事故前における県内の海水中放射能濃度レベル 不検出～0.05Bq/L

(4) 海水中のトリチウム濃度

(釣師浜、原釜・尾浜、北泉、久之浜・波立、四倉、薄磯、勿来)

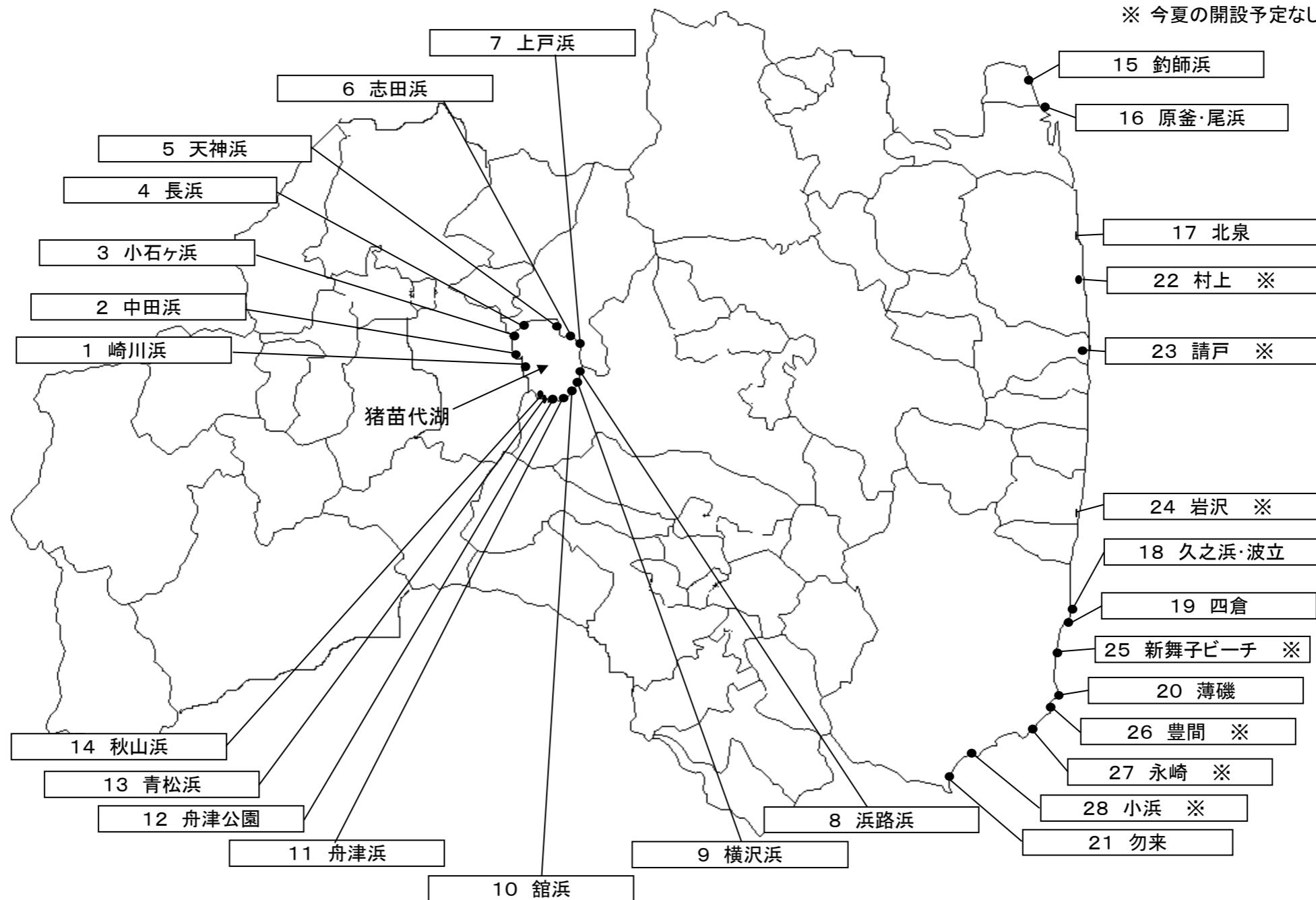
不検出

※事故前における県内の海水中放射能濃度レベル 不検出～2.9Bq/L

水浴場調査地点

凡例：水浴場名

※ 今夏の開設予定なし



猪苗代湖調査地点拡大図

